

| | | | |
|--------------------------|--|--------------------|-----------|
| 授業科目名 | 医学一般 | 担当教員名 | 古川 浩三 / 他 |
| 科目区分 | 社会福祉主事任用資格に関する科目 | 施行規則に定める 科目区分 等 | |
| 必修・選択/単位数 | 選択 / 2単位 (30時間) | 授業方法/担当形態 | 講義 / 複数 |
| 開講学年/学期 | 2年 後期 (3-4期) / 年間開講数 1講座 | 特記事項 | |
| 授業の概要 及び 全体目標 | 人体の機能と構造およびその病的状態について理解させるとともに代表的な疾患についてその概要についても理解するとともに、社会福祉にかかわる専門職として心得ておくべき医学的基礎知識の学習を目的とし目づ公衆衛生の動向についての理解も深める。 | | |
| 到達目標 | | | |
| テキスト | 使用しない | | |
| 参考書・ 参考資料等 | 必要に応じてプリント等を配付 | | |
| 成績評価の方法 | ○授業への参加意欲：30% ○レポート：70% | | |
| 授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等 | | | |
| 授業計画 | 授業の内容 | 到達目標番号 | |
| 第1回 | 現代の代表疾病概要① (担当：医師) | | |
| 第2回 | 現代の代表疾病概要② (担当：医師) | | |
| 第3回 | リハビリテーション各論① (担当：理学療法士) | | |
| 第4回 | リハビリテーション各論②～リハビリ栄養 (担当：理学療法士) | | |
| 第5回 | リハビリテーション各論③～バリアフリーとユニバーサルデザイン (担当：理学療法士) | | |
| 第6回 | リハビリテーション各論④～疼痛とその対処法 (担当：理学療法士) | | |
| 第7回 | リハビリテーション各論⑤～リハビリの目標と設定 (担当：理学療法士) | | |
| 第8回 | リハビリテーション各論⑥～ICFとは (担当：理学療法士) | | |
| 第9回 | リハビリテーション各論⑦～ICFとは (担当：理学療法士) | | |
| 第10回 | リハビリテーション各論⑧～発達遅滞とリハビリテーション (担当：理学療法士) | | |
| 第11回 | リハビリテーション各論⑨～精神障がいとリハビリテーション (担当：作業療法士) | | |
| 第12回 | リハビリテーション各論⑩～運動学 (担当：作業療法士) | | |
| 第13回 | リハビリテーション各論⑪～通所リハビリテーションの実際 (担当：作業療法士) | | |
| 第14回 | 内臓疾患及び、高齢者の認知機能など① | | |
| 第15回 | 内臓疾患及び、高齢者の認知機能など② | | |